



# 平和病院だより

2025年 VO1 44

## あなたに受けて欲しい♡

# 乳がん検診

## 毎日忙しいあなた自分の事を

## 後回しにしていますか？

## 受診するなら今でしょ！



2024年の女性の乳がん罹患数は、

約**91,100人**と予測されています。

これは、女性が罹患するがんに限って言えば最も多い数です。

具体的には、日本全国で女性の**9人に1人**が乳がん罹患するとされています。右の図は年齢別の乳がん罹患数のグラフです。

40代後半から50代にかけて乳がんになる患者さんが多い事がわかります。

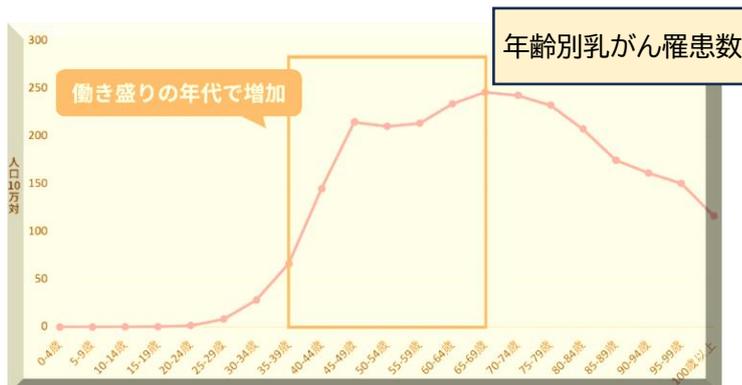
しかし60代70代でもグラフがしめすように乳がんにかかりにくいというわけではありません。

乳がんの罹患率が増加している背景には、人口の高齢化、ライフスタイルの変化、出産年齢の遅延や少子化、ホルモン療法の普及、環境要因、診断技術の進歩、遺伝的要因など、多岐にわたる要素が絡んでいます。

特に先進国では、生活習慣や社会的な変化が乳がんリスクに大きな影響を与えていると考えられます。

早期発見のための検診はとても大切な事です。横浜市の乳がん検診対象者は**40歳以上**です。

あなた、あなたのご家族は**乳がん検診**を受けていますか？



乳がんの初期は症状が出にくいので症状がなくても定期的に検査で確認することが大切です

**【15,763人】この数は2023年乳がん死亡数です**

乳がんは早期に発見すれば治るがんです

～ 平和病院 乳腺外科 ～

	月	火	水	木	金
午前	◎	◎	◎	◎	◎
午後	◎		◎	◎	

# かかりつけ医はいますか？

内科でご相談ください♪

かかりつけ医とは健康に関することをなんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師の事です。

かかりつけ医がいるメリットは日頃の状態をよく知っている医師であれば、ちょっとした体調の変化にも気づきやすいため、病気の予防や早期発見、早期治療が可能になります。



「私、お薬飲んでないから～」

「私、お薬飲んでないから～」

「病院嫌いだから～」

それではいざという時困ります。

特に介護保険申請時に主治医いますか？と言われて困ってしまう方も多くいます。

まずは1年に1回の検診や風邪の症状の時に診察等内科受診をしてみましょう。

その後は定期的に受診をしてかかりつけ医をもちましょう。



## 2025年度 子宮頸がん検診内容が変わりました

横浜市の子宮頸がん検診が HPV 検査単独法になりました。  
対象年齢は**30～60歳**で対象の方には横浜市からお知らせが届いています。  
こちらの検診をご希望の方は必ず横浜市からの用紙をご持参してください。  
61歳以上の方、20歳～29歳は今まで通り  
2年に1回横浜市の子宮頸がん検診(細胞診)が受けられます。  
当院では子宮のエコー検査はできません。  
必要時他の病院を紹介させていただきます。

婦人科は金曜日の  
午前のみとなります



患者様にとって、いつも優しく、誠実であること

医療法人  
平和会

平和病院



045-581-2211



045-581-7651

